

📷 6月定例会のご案内

「引き続きWEB会議を開催」

コロナウイルスに対する緊急事態宣言は解除されましたが、東京を中心にまだまだ予断を許さない状態が続いています。

ということで6月もZOOMによるWEB会議（オンライン定例会改め）を行っていきたいと思います。

ZOOMへの接続方法

開催時刻になりましたら、パソコン・スマホなどでZOOMアプリを立ち上げ、事前にメーリングリストでご連絡したミーティングIDとパスワードを入力して、入室してください。

ご不明の点は脇田（090-5499-5947）までお電話ください。

👥 5月定例会のご報告

「WEB会議（オンライン定例会改め）」

4月16日に全都道府県に発令された緊急事態宣言下の中、5月の定例会も引き続きWEB会議という形での開催になりました。在宅での開催ということで4日・11日・18日・28日と計4回です。

その他オンライン飲み会や吉岡さん主催の勉強会も行われました。

WEB会議では、コロナによる仕事への影響などを中心に近況報告、撮影スタイルに関する質疑応答、コロナ関連の給付金補助金に対する質疑応答などが行われました。

吉岡さんの勉強会では、youtube動画を参考に手持ちカメラワーク、アドビソフトのPhotoshopを使用したレタッチ、youtubeでディズニー名曲鑑賞、照明を使った一眼カメラ撮影、について勉強しました。

実際に顔を合わせるのも良いのですが、WEB会議システムを使用することで

- ・パソコン画面共有機能で、編集ソフトなどの使い方の説明、資料共有による相談などができる
- ・遅延はあるものの動画上映ができる
- ・パソコンでの検索で、すぐに機材や情報の調査がスムーズにできる

などのオンラインならではのメリットもあったのではないのでしょうか。

以上敬称略

文責：脇田

✍️ 会員コラム

高橋さん「西湘のビデオ屋稼業」

佐藤さん「近況報告」

野上さん「ビデオマンの挑戦（6月号）」
が続きます！

（文責各筆者）

西湘のビデオ屋稼業

2020.6月 高橋 昌一

(含むことあり：個人的、感覚的話し)

今日歯医者への帰り道、とあるファミレスの前で、従業員が「お弁当 500 円」の手作り看板を持って立っていた。流れる車に向かってその看板を左右に動かしている。

(そうだな…) と、その昼はハンバーグ弁当に。(中々うまかったです)

コロナで休園を余儀なくされている幼稚園さんの登園できずにいる園児向けに、職員からのメッセージを収録したDVDを制作しました。参考までにその時の様子を検証気味に振り返って見ます。

4月17日、顧客の幼稚園さんから電話が入ってきました。要約すると、

「コロナ休園で新年度に変わっても園児に何のフォローもできない。

特に新入園児とはほとんど接点が無く、とにかく心配なんです」

「そこで、幼稚園からの発信ビデオを作りたい」

といった内容でした。

今このコロナで大変な中、応援しなければという気持ちも湧いてきて即承知の返事をしました。

その「応援しなければ」という気持ちは他の幼稚園にも向かい、他3園にもその制作話を持ち掛けました。具体的には、準備は省力化して、各先生のパフォーマンスに期待する素の映像を撮る・できるだけ編集無しで仕上げる・手作り感方向でいくなど、とにかく現場の先生も業者側の当方も極力負担を減らした内容での提案です。

結局2園ほどで話が決まりました。両園とも園児に向けて何らかの発信をしたいと思ってはいたものの中々具現化できずにいたようで、その持ち掛けた話もすぐにまとまりました。

両園とも撮影時間は午前中にて終了。先生の手になる特急の撮影シナリオもそれなりに用意されていて、もちろんノリを感じるシーンもしっかり入っていました。具体的内容では、各先生からのコメント・手遊び・ダンス・歌・寸劇等々。新入園児向けにと園舎紹介・遊具の使い方も入りました。撮影スタイルは9割方は手持ち、三脚固定は1割程度でした。撮影中は気にかかることが発生すると、修正はその場で行いながら進めました。例えばナレーション。演技中離れたところから声を被せていくカットなのですがどうしても聞こえが悪い。そこでナレーター先生にはいっそカメラの真後ろ立ってもらっての語りでバッチリ。また修正ではありませんが、先生の時折見せるノリのきいたアドリブはそのままだきました(先生方はみんな優れたパフォーマーなんです)。その他今回特に気を配ったのは、つい密になりがちな先生方の立ち位置チェックでしょうか。

カメラワークは、「編集時には最小限のトリミング程度で済ませられるように」と手持ち長回しで行いました。そのようにしてごく簡単に撮影したつもりでも仕上がった尺は両園とも予想以上の長さで30分ほどでした。逆算すると何やかんや4～5時間もあれば60分物ができる勘定になります。これは今後の参考数値となりました。(こういう類の撮影は無い状況の方がいいけどね)

その他には、場面場面に入れるテロップや、ジュエルケースゆえ手に取ってすぐに目に入ってくる盤面デザインは、当日先生に「手書きで」といきなりお願いをしちゃいました。一見無茶振りでも、日頃から鍛えている腕前で難なくさっさと画用紙に描き上げてくださる。特に今回の園児向けDVDでは親近感を呼ぶその手作り感はどうしても外せないのです。

撮影後、映像編集は1日足らずで終え、翌日にサンプルとポータブルプレイヤーを持参し、その場でワイガヤと確認をしていただく。このチェックのスピード感は「一日でも早く園児に届けたい」という両者思惑の一致です。ちなみにDVDにはコピーガード処理をして盤面にも「複製・転載禁止」の文字も入れました。映っているのは先生ばかりなのですが、特に若い先生は映像流出の懸念感が相当強い。その強さは僕の想像を超えていました。おそらく幼稚園先生の「あるある話」の一つではないでしょうか。新発見。

余談ですが納品の際、完成品の盤面を見てそのデザインを描いた先生が、思っていた以上のマッチングぶりに歓声をあげていました。

そして無事配布終了し、みんなで力を合わせたドタバタも完了。なお配布後の感想や評判・効果は後日確認してみるつもりです。(実はそこを一番知りたい)

話しガラリー変わってこのところ続けているZoom会議(現在5回+1回の飲み会を終えた)、開始時のぎこちなさも徐々に解消されてきました。最近「質問」を携えて来られる方もあり、少しずつ充実傾向。また「はい、今日はこれにて会議は終わります。」とクリックで自宅の作業机に瞬時に戻れるのはありがたいと感じることも度々。

またそれとは別に、吉岡さん呼びかけによる「勉強会」も2度続けて開催され、その時は参加者皆が上下なく同じステージに乗っかっていて、素直に「いいな」の印象でした。切り口にも個性を感じられ今後も何かと期待ですね。

その他には、かねてから懸案となっていた、ある「仕様変更」にトライの最中です。今のところおおむね良好のようなのですが、もう少し検証を重ねて納得できる結果が出れば報告したいと思ってもいます。とにかくいつもより時間のとれる現在、少しでも前向きに行動(機材チェック・自己習得・整理整頓等々)しようとしています。

私のやっている建築業界は、コロナウイルスの影響がほとんどないので仕事が出来ています。今年はずっとの年より仕事量が多い位です。この状態はたまたまかも知れません。もう少し立って見ないと本当のところはよく分かりません。会社は法人ですが、一人でやっているとフリーと同じ感覚で、いつ仕事がなくなるか分からない意識があり、どうしてもやれるだけ仕事を入れます。2年前位から、仕事に向かう姿勢に変化がありました。それは、自分のゴール(仕事をやめる日)は5年後か10年後か分からないけれど終わりは長くないと思うようになったことです。その頃から頂いている仕事をより大事にし、黙っていてもちゃんとしたものを作ってくれる存在でいようと思うようになりました。そして私の撮った写真が建築会社、設計事務所、販売者などにとって次の営業に使われる良い製品になるように心がけています。写真も納品までに時間と手間がかかります。

3つ心がけていることを挙げてみました。

1. 構図 写真を見て違和感なく直ぐに写真の中に入れる表現。
2. 色 RAW撮影から現像して実際に近い色にする。
(動画も早くRAW撮影にしたいと思っています。)
3. レタッチ 人間の目で見たとような明るさに整える。
(主にハイライト、シャドウ部の調整。)
設計者の着想を自然らしさも残しつつ強調する。

よく撮影するのは新築マンションで、小ぶりの現場が多いです。

直近で担当した大きな現場

警察署、駅前複合開発プロジェクト、シネコン(複数のスクリーンがある映画館)、新都心バスターミナル、市営清掃工場、国立大学研究棟、地方合同庁舎、老人ホームなどです。

最近、耳に残っている嬉しいことがありました。以前、飛び込み営業で仕事をさせていただいた強面の所長さんから電話があり、照れ笑いしながら「リピーターです！」と依頼があったことです。

もうしばらくは休めませんが、動画サイトのチュートリアルを見て真似をしてみたり、撮影機材の練習を早く再開したいと思っています。



チャンネル登録

ビデオマンの挑戦 (6月号)

八王子ビデオサークル 代表 野上 五十満

コロナの解禁が5月25日の午後に発表された。未曾有のコロナウィルス3蜜という「おふれ」に手も足も出ない状況の中、Web会議だけがBizネットの救いの神となったと思う。多くのメンバーが何とかしようと模索する中で最善の道であったと私は思います。

そこには仲間意識もあるからだと思う。そして私にとっては大きな情報が2つこのWeb会議から学びました。商いあきないという事です。知らないから・知る事は得した気分になるのです。

一つ目はEdius9 9.5になって音声同期でタイムラインで難なく3本でも10本でもマルチカム・シンクでオーディオ同期を掛けてあとはマルチの画面で最適な物を選んでスイッチングが出来る事を習得して、試しにやってみたら一発で出来たし実際の映像を制作した。Youtubeへアップロード出来た。この方がスイッチャーを使うより簡単で切り替えは1秒でも2秒でも出来る。スイッチャーを使うのはFacebookやYoutubeで生配信を行う時に有効であるはずだ。

二つ目は昨日のWeb会議で出た、「プリント・バック」である。ブルーレイのトール・ケースの印刷を100枚660円でやってくれるという事をネットで確認できた。二つとも今までの苦勞、垣根が取れた思いがする。インクの話は皆さん苦勞なされているのか画面上で笑いが各人から漏れていた。

私はラッキーにもガン保険が降りたからBizネットの各位のアドバイスを忠実に実行できた。その成果を確認しながら行動している。今ほど充実した気分Bizネットの会報に投稿文書を書いた事はない。それだけの知識・経験・社会的な地位ステータスを持って行動しているという自覚がはっきりともっているからだ。アマチュアからプロになる。出来て当然として行動しているからだ。私の作品を「上手い」なんてお世辞をもはや誰も言わなくなっている。そのレベルを超えたから私はチラシを作って一人映像リサイタルを企画しその費用を投じたのである。そして反響は残念ながら新型コロナウィルスの為に「うやむや」になった。ただ友人知人へは無料でBDを配布出来た。

人の価値観なんて様々です。貧乏長屋のクマさんハッさんの会話を聞いて誰が、不幸せな人達と言えますか。貧乏であっても幸せな毎日がそこにはあるのです。金に目がくらんだ盲じゃ、トマレ そんな料簡だからいつまでたっても幸せになれないんだ と**大家(かみさん)**が言う。

*画像クリックでYoutube 八王子ビデオサークルへ→

6月7月はどんな月になるのか、第2波があるのか不明ですがとにかく自分の目指す道をコツコツとやります。八王子ビデオサークルの例会は毎月第2日曜日の午後1時から5時までクリエイトホールで部屋はネットから予約済みです。興味がありましたら貴方の映像を上映しましょうか・・・但し年会費は¥12,000円です。7ヶ月分の¥7,000.-を郵便振替用紙をお送りしますのでお振込みをお願い致しますっていう感じです。どうぞ皆さまもポジ

ティブに最低限度の事をやるのが一番大切な事です。あとWeb会議で感じた事ですがこの状況下では一般常識が通用しなくなっているようにも思えます。可能性の追求は強いマインドが必要ですし自己暗示でもなんでも心を一にしてダメだと思ったことでもやってみましょうよ。そうすればそこから何かが見えてくるはずですよ。その意味で幼稚園の先生方の映像を編集するだけというDMを出していますが、いつかは役に立つときが来ると信じています。

ご拝読ありがとうございました。

Dolphin Trading Inc., Tokyo, Japan. Isomi Nogami, Manager

